

米穀 | 実需者直接販売や買取販売をさらに拡大

取り組み目標

- 実需者への直接販売の拡大
- 買取販売の拡大
- 安定的取引の拡大
 - 実需者と結び付いた事前契約（播種前・複数年契約）の拡大
 - 実需者ニーズをふまえた多収品種等の作付提案・契約栽培の拡大
- 広域集出荷施設、炊飯・精米工場などのインフラ整備
- 実需者・米卸との出資・業務提携による関係強化

進捗状況

- ✓ 2017年産米は、**直接販売102万トン**（計画100万トン）、**買取販売37万トン**（計画30万トン）と計画を達成。18年産米では、**直接販売125万トン**、**買取販売50万トン**と計画値を拡大して推進中。
- ✓ 17年産米の**事前契約は、計画130万トン**を達成。18年産米ではさらに取り組みを拡大。
- ✓ 18年産米の**多収品種等の契約栽培は計画1万トン**の達成を見込み、19年産以降もさらに取り組みを拡大。
- ✓ **広域集出荷施設（連合倉庫）を17年度は3か所、18年度は2か所で新設。**
- ✓ **大手回転寿司チェーン、大手米卸・食品メーカーと資本・業務提携し、米の安定的取引を強化・拡大。**

直接販売



2017年産米

買取販売



多収品種等の契約栽培の拡大



広域集出荷施設の新設